

都市再生整備計画

コミュニティの^{もり}森地区

ながのけん しもいなぐんあなんちょう
長野県 下伊那郡阿南町

令和6年3月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	長野県	市町村名	あなんちょう 阿南町	地区名	コミュニティの森地区 <small>もり</small>	面積	10	ha
計画期間	令和 6 年度	～	令和 10 年度	交付期間	令和 6 年度	～	令和 10 年度	

目標

大目標:おいなんよ あなんTOWN

目標:地域が元気で時代に合った安全・安心な暮らし

まちの防災拠点として、教育や文化、スポーツの拠点であるコミュニティの森周辺の整備を行い、防災施設としての機能強化や公園、駐車場、屋外広場の整備、植樹による景観形成を図ることで、有事の際も平時もいつでも様々な人々が集える拠点とする。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

阿南町では、「第6次阿南町総合計画」(令和元年度策定)において、「おいなんよ あなんTOWN」を基本構想に掲げ、4つの基本目標を中心に重点的に取り組みを進めてきた。コミュニティの森地区(以下、「当地区」という。)の属する大下条地域は、本町において最も人口が多い地域であり、役場本庁を始め県立阿南病院や阿南高校など、本町の主要な公共施設が集約している地域である。中でも本地区は、大下条地区の中心部に位置し、防災面においては、阿南町地域防災計画(令和3年10月修正版)において、本地区にある「阿南町体育館」が指定緊急避難場所と指定避難所、「阿南少年自然の家」が指定避難所、「阿南町総合グラウンド」が災害時ヘリポートに位置づけられるなど、有事の際の大下条地域の防災拠点としての機能を担っている地区である。また、本地区には様々な社会教育施設が集約され、その中でも「阿南少年自然の家」は、長野県の生涯学習施設として、県内外から令和元年には年間約1.9万人の利用者が訪れ、コロナ禍などにより一時的な利用者数の減少はあるものの、今後一層の利用者の増加が期待されることや、「阿南町体育館」や「阿南町総合グラウンド」、「阿南町武道館」、「阿南町弓道場」、「阿南町民会館」、「阿南町文化会館」、「B&G財団法人阿南海洋センター(プール)」、マレットゴルフコースなどの様々な社会教育施設が整備され、駅伝大会や商工業祭などの各種イベントの開催などにより、子どもから年配者まで様々な人々が集う地区となっている。

課題

- 1 災害時の救援物資の保管場所が確保されていないことや、指定避難所となっている町民体育館に自家発電設備が整備されていないなど、防災拠点としての機能強化や充実が求められている。
- 2 併せて、社会教育拠点としての更なる施設の充実が基より、子育て世代の集える場所としての公園整備、花木の植樹による景観形成による観光拠点としての新たな価値の付加など、様々な分野における拠点として施設の集約化や充実が求められている。

将来ビジョン(中長期)

○第6次阿南町総合計画(2020-2029)(平成31年度策定)

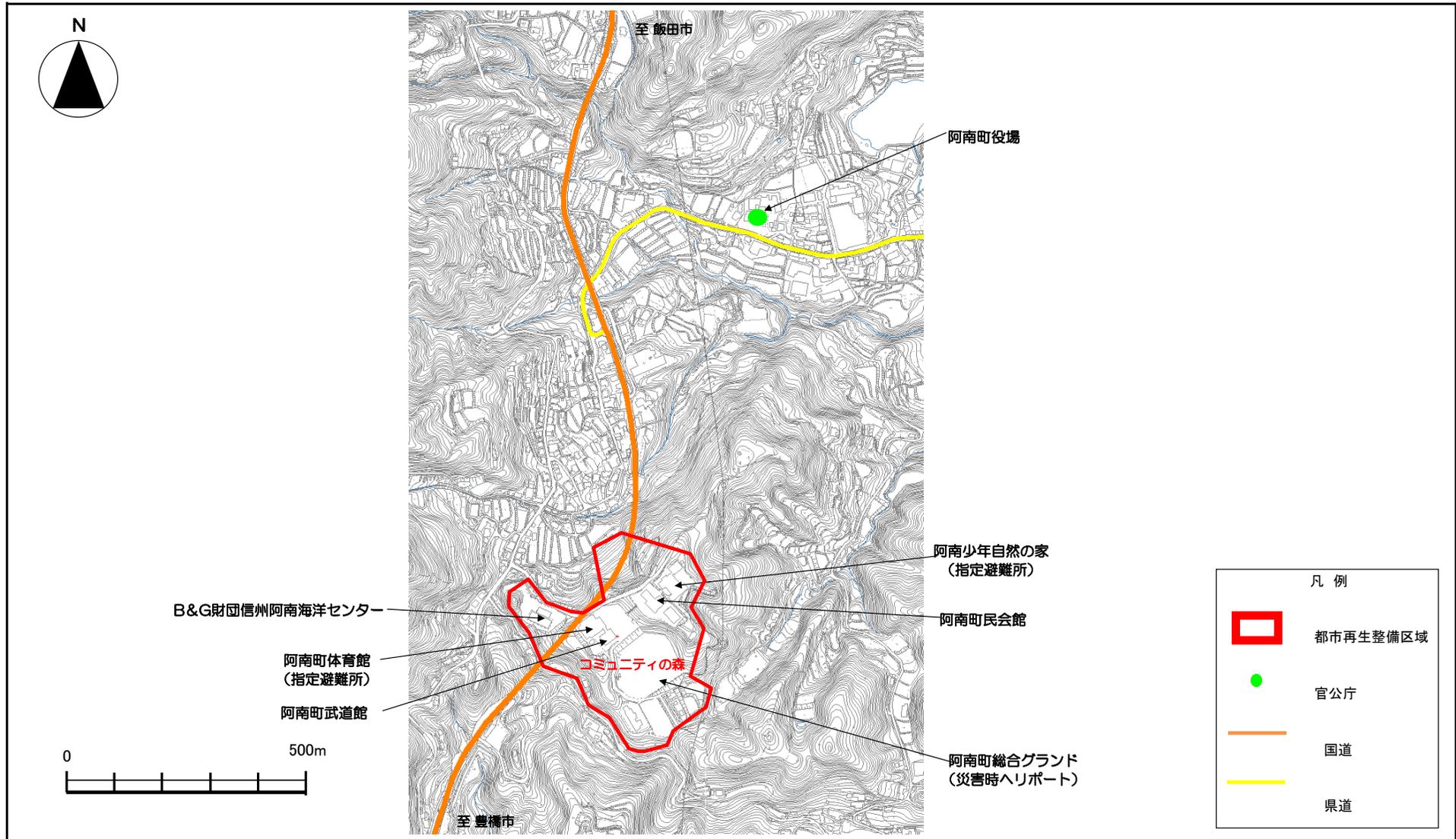
人口減少や少子高齢化が進むことが心配されている時代だからこそ、まちの枠を超えた地域のつながりを強め、4つの地区(T富草・O大下条・W和合・N新野)がお互いの魅力を認め合い、阿南ブランドを発信することで、戻ってきたくなる・行ってみたいくなるまち(TOWN)を目指します。

また、すべての町民が思いをひとつにして、町の現在(いま)を支え、まちの未来(これから)を育てる、住んで良かったと思えるまち(TOWN)を目指します。

- ・「心配されている時代だからこそ」 …風習や慣習にとらわれず、時代に合ったかたちで前向きな思いを持つこと
- ・「4地区のの魅力を認め合い」 …阿南町の魅力を地域全体で共有し、地域の魅力(強み)を活かし、お互いの地域の弱みを補い合うこと
- ・「阿南ブランドを発信する」 …ひとを惹き付けるために、阿南だからできること、阿南でしかできないこと、阿南らしさを共有して発信すること
- ・「戻ってきたくなる・行ってみたいくなる」 …戻ってきたいと思ってもらえること、知ってもらうこと、来てもらうこと、そして住んでみたいと思ってもらえること
- ・「すべての町民が思いをひとつにして」…住民一人ひとりが自分のことだけでなく、住む地域のこと、そしてまち全体のことを考えて行動すること
- ・「まちの現在(いま)を支え」 …誰もが活躍する場所があり、地域の担い手となること、稼ぐ力を持ったまちとなること
- ・「まちの未来(これから)を育てる」 …まちの未来を担う子どもを地域全体で育てること、まちの担い手になりたいと感じる魅力を作っていくこと
- ・「住んで良かったと思える」 …ひとのつながりがあり、健康で安全・安心な毎日を送れ、住み続けたいと思えること

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【地域の防災拠点としての機能強化と充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に防災施設として利用できる防災機能を有した公園整備 ・指定緊急避難場所及び指定避難所としている「阿南町体育館」の非常用発電設備の整備 ・「阿南町体育館」に隣接する「阿南町武道館」の災害時救援物資備蓄施設としての整備 ・災害時の救助活動拠点として電源車や通信車などの特殊車両の待機場所や避難者のための駐車施設の拡充整備 ・「阿南町体育館」裏山の土砂法特別警戒区域解除のための急傾斜地対策事業 	<p>【基幹事業】 (公園)地区内の住民の利用に供する防災機能を有した公園整備事業 【基幹事業】 (地域生活基盤施設 地域防災施設)避難所非常用発電設備整備事業 【基幹事業】 (地域生活基盤施設 駐車場)駐車場拡充整備事業 【提案事業】 (地域創造支援事業)床のフローリング化整備事業 【提案事業】 (地域創造支援事業)避難所の急傾斜地対策事業</p>
<p>【町の社会教育拠点としての機能強化と充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨天時も利用できる屋外運動広場の整備 ・地域のニーズに応える「阿南町武道館」の施設の利用率向上のための整備 	<p>【基幹事業】 (地域生活基盤施設 広場)屋外運動広場整備事業 【提案事業】 (地域創造支援事業)床のフローリング化整備事業</p>
<p>【新たな拠点機能の付加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点の機能強化として、様々な年代の方が集う公園の整備 ・観光拠点として、遊歩道の整備や花木の植樹による景観形成事業 	<p>【基幹事業】 (公園)地区内の住民の利用に供する防災機能を有した公園整備事業 【基幹事業】 (高質空間形成施設)花木の植樹及び遊歩道整備による景観形成事業</p>
<p>その他</p>	
<p>【その他官民協働の取り組み事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町立阿南第一中学校と協働によるコミュニティの森造成計画の策定(令和4年度) 	

コミュニティの森地区(長野県下伊那郡阿南町)	面積	10 ha	区域	阿南町西條(早稲田周辺)
------------------------	----	-------	----	--------------



モリ ナガノ シモイナ アナンチョウ
コミュニティの森地区(長野県下伊那郡阿南町) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業(防災・安全交付金))

目標	まちの防災拠点として、教育や文化、スポーツの拠点であるコミュニティの森周辺の整備を行い、防災施設としての機能強化や公園、駐車場、屋外広場の整備、植樹による景観形成を図ることで、有事の際も平常時もいつでも様々な人々が集える拠点とする。	代表的な指標	防災啓発イベントの参加者数 (人/年)	200人 (令和4年度) →	300人 (令和10年度)
			安全な指定避難所の収用人数 (人)	312人 (令和5年度) →	720人 (令和10年度)
			阿南少年自然の家の年間利用者数 (人/年)	20,000人 (令和4年度) →	33,000人 (令和10年度)

